

# 平成30年度 第二回 足立区経済活性化会議 次 第

平成30年11月13日(火) 9:30～  
場所：あだち産業センター

- 1 足立区経済活性化会議委員の委嘱について
- 2 足立区経済活性化会議委員の紹介
- 3 足立区経済活性化会議会長の選任について
- 4 検討事項 【別紙3】  
まちづくりの現状と産業経済部の取り組みについて
- 5 報告事項 【別紙4】
  - (1) 創業プランコンテストの審査結果について
  - (2) 新製品・新事業開発補助金の審査結果について
  - (3) 「足立のものづくり展」の開催について
  - (4) 平成30年度足立メッセの実施内容について
  - (5) 第1回あだち都市農業振興プラン推進協議会の開催について
  - (6) 健康経営に関連する事項について
  - (7) 第2回あだちの輝くお店セレクションの実施について

## 配付資料

- 1 委員名簿
- 2 席次表
- 3 平成30年度第2回足立区経済活性化会議【検討事項】
- 2 平成30年度第2回足立区経済活性化会議【報告事項】

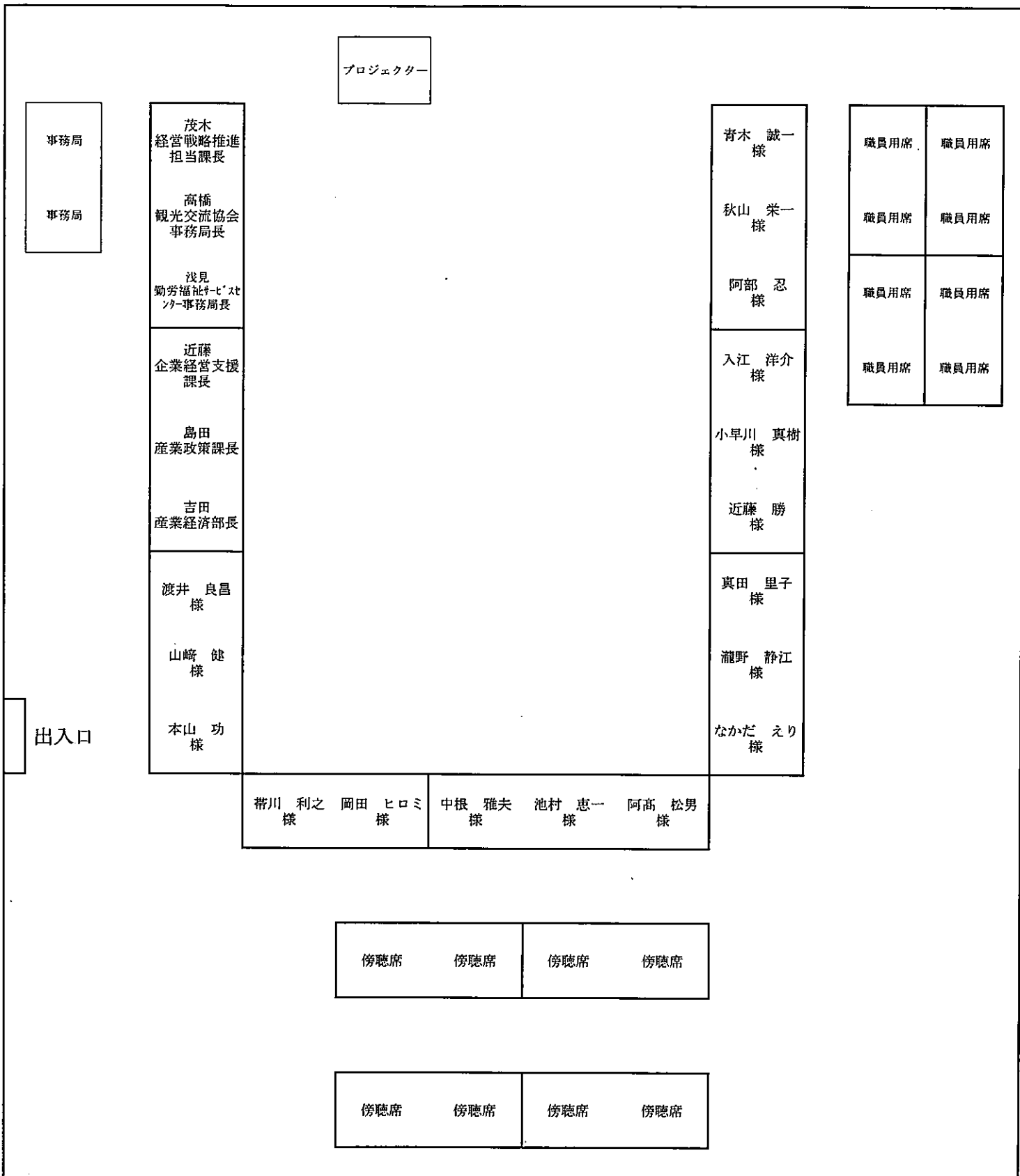
# 足立区経済活性化会議 委員名簿

別紙 1

委員任期:平成30年(2018年)11月13日~2020年11月12日

No.	区分	団 体 等	肩書	氏 名	備考
1	学識経験者	国士舘大学	経営学部 学部長 教授	中根 雅夫	
2	学識経験者	東京電機大学	名誉教授	阿高 松男	
3	学識経験者	流通経済大学	経済学部 教授	池村 恵一	
4	学識経験者	消費生活アドバイザー		岡田 ヒロミ	
5	学識経験者	東京電機大学 (東京大学)	ものづくりセンター副セ ンター長 (名誉教授)	帯川 利之	
6	関係行政機関	(公財) 東京都中小企業振興公社	城東支社長	大坪 昭寛	
7	事業者	東京スマイル農業協同組合	足立地区青壮年部部長	青木 誠一	
8	区 民	連合東京東部地域協議会 足立地区協議会	副議長	秋山 栄一	
9	事業者	足立区しんきん協議会	代表世話人	阿部 忍	
10	事業者	エンブレムジャパン株式会社	代表取締役社長	入江 洋介	
11	事業者	株式会社しまや出版	代表取締役	小早川 真樹	
12	事業者	東京商工会議所足立支部	副会長	近藤 勝	
13	事業者	あだち異業種連絡協議会	副会長	真田 里子	
14	事業者	足立荒川職業協会	会長	鈴木 又右衛門	
15	区 民	足立区消費者友の会	会長	瀧野 静江	
16	区 民	イラストレーター		なかだ えり	
17	事業者	株式会社オレンジアーチ	代表取締役	本山 功	
18	事業者	足立区商店街振興組合連合会	副理事	山崎 健	
19	事業者	丸勤食販企業組合 (特定非営利活動法人あだち菜うどん学会)	代表理事 (理事)	渡井 良昌	

平成30年度第二回経済活性化会議 席次表



プロジェクター

事務局  
事務局

茂木  
経営戦略推進  
担当課長

高橋  
観光交流協会  
事務局長

浅見  
勤労福祉サービス  
センター事務局長

近藤  
企業経営支援  
課長

島田  
産業政策課長

吉田  
産業経済部長

渡井 良昌  
様

山崎 健  
様

本山 功  
様

青木 誠一  
様

秋山 栄一  
様

阿部 忍  
様

入江 洋介  
様

小早川 真樹  
様

近藤 勝  
様

真田 里子  
様

瀧野 静江  
様

なかだ えり  
様

職員用席	職員用席
職員用席	職員用席
職員用席	職員用席
職員用席	職員用席

出入口

帯川 利之 様	岡田 ヒロミ 様	中根 雅夫 様	池村 恵一 様	阿高 松男 様
------------	-------------	------------	------------	------------

傍聴席	傍聴席	傍聴席	傍聴席
-----	-----	-----	-----

傍聴席	傍聴席	傍聴席	傍聴席
-----	-----	-----	-----

平成30年度 第2回 足立区経済活性化会議

**【検討事項】**

# 足立区経済活性化会議 資料

平成30年11月13日

件名	まちづくりの現状と産業経済部の取り組みについて
所管部課名	産業経済部 産業政策課
内容	<p>まちづくりと産業経済行政</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 足立区のまちとしての位置づけ</li> <li>2 エリアデザインの進展</li> <li>3 足立区の空き屋対策</li> <li>4 産業経済部が取り組む「まちづくり」</li> </ol> <p>1 足立区のまちとしての位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・23区の中で足立区は「センターコアゾーン」及び「都市環境再生ゾーン」に位置づけられていた。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【東京都都市づくりビジョンP55抜粋】</p> <p>都市環境再生ゾーン＝「住宅地を主体としつつ、地域の中心拠点としてにぎわいを見せる個性的なまちや、河川、農地、大規模な公園など、潤いのある水と緑に恵まれたまち、住と工の融合した活気あるまちなど、多様な表情を持つ中で、東京の都心居住を支えるゾーンである。」</p> </div> <p>※東京都都市づくりのグランドデザインが平成29年度に策定され、そこでは、環七以南は、「中枢広域拠点域」、環七以北は「新都市生活創造域」とされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・足立区の用途地域は住宅向けの用途が大部分を占め、工業用途の区分となっている場所が限られている。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>用途地域＝区内を土地の利用方法によって住宅地、商業地、工業地の3つに分け、さらに細かく13種類に分類して地域分けしたもの。 それぞれ、建築できる建物の種類が細かく規制される。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常、用途地域の決定権者は市区町村長となっているが、特別区は特例的に東京都知事決定となっている。</li> </ul> <p>⇒変更しようとした場合は、東京都に依頼しなければならないが、良好な住環境に資する用途変更以外は、なかなか認められない。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●広い用地を希望する企業の誘致や工場の新設、拡張等は、まとまった用地が創出されても、用途制限にひっかかってしまう。</li> <li>●住居が増え、純粋な工業地帯はわずかに残るのみ。住工混在が進み、既存工場はより地域に配慮した操業が求められている。</li> <li>●工場の拡張も難しく、そうした意向をもつ工場は区外移転せざるを得ない。</li> </ul> </div>

## 2 エリアデザインの進展

7つのエリアにおいて、大規模な区有地等を活用し、民間活力によるまちの整備を推進。

### 【江北エリア】

女子医大東医療センターの移転と合わせて、戦略的にまちづくりを進めていく。

#### (1) 江北エリアデザインのテーマ

【健康】をテーマとした4つの視点(病気予防、体力づくり、あんしん、にぎわい)をもとに、まちづくりを進めていく。

#### (2) にぎわいの具体的な取り組み(案)

- ・日暮里舎人ライナー沿線をにぎわい軸として設定し、日常生活における買い物や飲食などに適した商業施設等を誘導する。
- ・大学病院移転に伴う、バス交通の誘導

## 3 足立区の空き家の取り組みについて

空き屋を増やさないために、それぞれの状況にあわせた対策を推進。

#### (1) 空き家の取り組み内容

- ・空き家の適正管理
- ・空き家を含めた老朽家屋やごみ屋敷の対策
- ・空き家の実態調査を実施

⇒空き家と思われる建物が多く分布していた北千住駅東口エリアを追加調査後、モデル事業を実施中。

#### (2) 空き家に関する取り組みの課題

- ・当初空き家と想定されていた建物の多くは何らかの利用がなされていて、純粋な未使用の空き家が少ない。
- ・所有者が遠隔地にいる例も多い。
- ・耐震基準を満たさない物件も多く、改修が必要となる。

- 居住者はいるが、見た目には空き家と思われる物件は、賑わいを損ねる要因となってしまう。
- 趣のある建物ほど、耐震基準等に照らすと改修が必要と判断されることが多く、その魅力を十分に活かしきれない。
- 一番の問題は、物件を借りたい人の要望と、貸したい人の要望のすれ違い。

## 4 産業経済部が今後取り組んでいきたい「まちづくり」

#### (1) 取り組みの方向性

- ◆空き家や、居住者はいるものの現在営業していない店舗(仕舞屋・しもたや)を、地域の活性化につながるよう利活用。

#### (2) 参考事例

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リノベーションまちづくり</li> <li>→全国各地で実施中</li> <li>⇒このような取り組みに足立区らしさや、おもしろさ、新しさを加え、事業を構築していきたい。</li> </ul> <p><b>5 検討課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・足立区らしさとは何か</li> <li>・足立区のおもしろい街、おもしろい場所</li> <li>・街のにぎわいに必要な取り組み</li> <li>・空き家に対する産業経済部として取り組みの方向性</li> <li>・北千住のにぎわいを他の地域へ広げていく方法</li> </ul>
備 考	

平成30年度 第2回 足立区経済活性化会議

**【報告事項】**



# 足立区経済活性化会議報告資料

平成30年11月13日

件名	創業プランコンテストの審査結果について
所管部課名	産業経済部 企業経営支援課
内容	<p><b>1 事業概要</b>          創業予定または創業3年未満の事業者からビジネスプランの提案を受け、優秀な計画の提案者を表彰する。          表彰者の事業展開を評価し、着実に進捗した事業者に対象経費の2分の1（上限200万円）を補助金として交付する。</p> <p><b>2 募集・採択概要</b></p> <p>(1) 募集期間 平成30年5月7日（月）～6月8日（金）          (2) 応募件数 14件          (3) 審査方法          第一次選考…書類審査（6件が第二次選考へ）          第二次選考…プレゼンテーション10分・質疑応答15分          (4) 審査選考日 平成30年7月16日（月祝）          (5) 選考委員 4名（学識経験者1名・中小企業診断士2名・区職員1名）          (6) 採択結果 3件 詳細は別紙のとおり          (7) 表彰式 平成30年8月7日（火）</p> <p><b>3 今後のスケジュール</b></p> <p>(1) 定期的な進捗状況の確認          (2) 業績の評価と補助金交付の決定及び支払い          （平成31年3月下旬予定）</p>
備考	中小企業相談員が採択企業と定期的に面接を行い、事業プランの着実な進展に向けた支援を行っていく。

創業プランコンテスト採択者一覧 (別紙)

事業者名	株式会社立命 代表取締役 眞野 玲子
創業年	平成28年5月
事業提案名	足立の子どもの思考力・判断力・表現力向上のための作文指導事業
事業内容	子どもの学力向上を目的とした、作文の家庭用通信教育アプリシステムの導入
審査員の主な評価	申請者は、編集者及び非常勤講師としての経験を活かし、子どもの思考力・判断力・表現力向上に貢献できる。
賞種別	最優秀賞
補助限度額	199万円

事業者名	株式会社ドローン・フロンティア 代表取締役 弓削 拓実
創業年	平成29年3月
事業提案名	ドローン運用コンサルティング
事業内容	ドローン活用による新たな収益の可能性を提示する包括的なコンサルティング事業の展開
審査員の主な評価	行政をはじめ、数社との取引の目途が立っており、一定の技術力はあると思われる。
賞種別	優秀賞
補助限度額	200万円

事業者名	(仮称) 吉通 吉越 通子
創業年	平成30年8月予定
事業提案名	人工透析患者が治療中に使用する見守り保温カバーの販売
事業内容	人工透析患者が透析治療中に、安心かつ安全に使用できる保温カバーの製作及び販売
審査員の主な評価	人工透析患者の困りごとを解決するアイデア商品の企画であり、社会貢献度が高い。
賞種別	優秀賞
補助限度額	125万円

# 足立区経済活性化会議報告資料

平成30年11月13日

件名	新製品・新事業開発補助金の審査結果について
所管部課名	産業経済部 企業経営支援課
内容	<p><b>1 事業概要</b> 区内で新技術・新製品・新サービス等の開発を伴う革新的な事業を展開しようとする事業者（創業3年以上）から事業計画の提案を受け、優秀な提案を採択し、対象経費の2分の1（上限300万円）を補助金として交付する。</p> <p><b>2 募集・採択概要</b></p> <p>(1) 募集期間 平成30年5月14日（月）～6月1日（金）</p> <p>(2) 応募件数 7件</p> <p>(3) 審査方法 第一次選考…書類審査（4件が第二次選考へ） 第二次選考…プレゼンテーション10分・質疑応答15分</p> <p>(4) 審査選考日 平成30年7月9日（月）</p> <p>(5) 選考委員 5名（学識経験者3名・中小企業診断士1名・区職員1名）</p> <p>(6) 採択結果 2件 詳細は別紙のとおり</p> <p>(7) 表彰式 平成30年8月7日（火）</p> <p><b>3 今後のスケジュール</b></p> <p>(1) 定期的な進捗状況の確認</p> <p>(2) 業績の評価と補助金交付の決定及び支払い （平成31年3月下旬予定）</p>
備考	中小企業相談員が採択企業と定期的に面接を行い、事業プランの着実な進展に向けた支援を行っていく。

新製品・新事業開発補助金採択者一覧 (別紙)

事業者名	セブンエイト流通コンサルタント合同会社 代表社員 鈴木 邦彦
創業年	平成23年9月
提案事業名	トラック荷台用雨除け装置 (商品名カーゴタープ)の事業化
事業内容	トラック配送における雨天時の積降作業の際、作業者および商品が濡れるのを防ぐ雨除け装置
審査委員の 主な評価	日本で初めての簡単な装置で、耐久性を高めることができれば市場に受け入れられる製品である。
補助限度額	104万円

事業者名	株式会社大勝テック 代表取締役 大谷 達裕
創業年	平成10年6月
提案事業名	ビル、マンション等のルーフドレン(屋上、バルコニーの排水口)の再生工法
事業内容	ルーフドレン再生工法(DR工法)、劣化したルーフドレンの保護、防水性能の向上
審査委員の 主な評価	社会的意義があり、建築だけでなく土木構造物にも市場がある。
補助限度額	246万円

# 足立区経済活性化会議報告資料

平成30年11月13日

件名	「足立のものづくり展」の開催について
所管部課名	産業経済部産業振興課
内容	<p>1 目的</p> <p>(1) 区内工業製品、伝統工芸品を一堂に集め、区内外に広くPRする。</p> <p>(2) ものづくりの楽しさ、素晴らしさを体験するとともに、良質な製品を廉価で提供し、実際に使っていただくことで足立の産業製品の優秀性への認識と関心を高め、普及促進と販路拡大を図る。</p> <p>2 開催日時</p> <p>(1) 第18回あだち地場工業製品フェア          平成30年12月11日(火) 午前11時から午後6時まで          12月12日(水) 午前11時から午後5時まで</p> <p>(2) 第30回足立伝統工芸品展          平成30年12月13日(木) 午前11時から午後6時まで          12月14日(金) 午前10時から午後5時まで</p> <p>3 開催場所          区役所庁舎ホール</p> <p>4 出展予定</p> <p>(1) 「第18回あだち地場工業製品フェア」          靴、かばん、生活関連用品等の 区内産業製品(10~12社 予定)</p> <p>(2) 「第30回足立伝統工芸品展」          ア 区内の伝統工芸品(江戸木彫刻ほか14~15品目予定)          イ 東北・熊本地域からの特別出展陶磁器、硯(宮城県、熊本県)</p> <p>5 事業内容</p> <p>(1) 区内工業製品、伝統工芸品の展示と有償頒布          (2) 製作実演、体験</p> <p>6 主催          足立区、足立区工業会連合会、足立区伝統工芸振興会</p> <p>7 後援(予定)          (公財)東京都中小企業振興公社、東京商工会議所足立支部、足立区教育委員会、(一財)足立区観光交流協会、(公財)足立区勤労福祉サービスセンター、足立区商店街振興組合連合会、あだち異業種連絡協議会</p>
備考	

# 足立区経済活性化会議報告資料

平成30年11月13日

件名	平成30年度あだちメッセの実施内容について
所管部課名	産業経済部産業振興課
内容	<p>1 開催概要</p> <p>(1) 開催日時 平成31年1月24日(木)～1月25日(金) 午前10時～午後6時(25日は午後5時30分まで)</p> <p>(2) 会場 シアター1010(足立区千住3-92) ・10階及び11階</p> <p>(3) イベント内容(案) ・出展者による製品、技術等の展示 ・足立区しんきん協議会による区内企業同士の商談会 ・全国から招待した区外企業との商談会 ・ビジネスセミナー(足立区内の企業経営者が、企業ブランディングの秘訣や事業展開の成功事例を語るパネルディスカッション等を実施予定)</p> <p>(4) その他 ・出展者向けスキルアップセミナー(展示会出展に向けたノウハウなどを身に付けるためのセミナーを開催)</p> <p>2 出展予定者 59社(平成29年度 58社)</p> <p>3 今後のスケジュールについて</p> <p>(1) 9月下旬～11月下旬 事前スキルアップセミナー(計3回)</p> <p>(2) 11月29日 出展者説明会</p> <p>(3) 1月24日、25日 あだちメッセ開催</p>
備考	

# 足立区経済活性化会議報告資料

平成30年11月13日

件名	第1回あだち都市農業振興プラン推進協議会の開催について																																																
所管部課名	産業経済部 産業振興課																																																
内容	<p>1 あだち都市農業振興プラン このプランは、有識者、区議会議員、様々な業種の関係団体選出者からなる「あだち産業会議」及び、同協議会の「農産・生鮮部会」における協議を経て、平成17年に策定された。その後、平成23年に中間見直しを行い、これに基づき区内農業の振興を図っている。平成27年に国が都市農業振興基本法を策定し、平成29年5月に東京都が「東京農業振興プラン」を発表している。</p> <p>2 あだち都市農業振興プランの改定 基本構想、基本計画、経済活性化基本計画などの上位計画の見直しが順次、進められており、これらと整合を図るため、あだち都市農業振興プランを改定する。改定にあたっては、都市農地の減少傾向の加速が懸念される中、区内農業関係者を含む多くの外部委員による合議制の機関を設け、調査、審議等を行っていくこととし、下記のとおり第1回あだち都市農業振興プラン推進協議会を開催した。</p> <p>3 第1回あだち都市農業振興プラン推進協議会 ア 開催日 平成30年10月29日（月） イ あだち都市農業振興プラン推進協議会委員</p> <table border="1" data-bbox="464 1294 1422 1989"> <thead> <tr> <th></th> <th>団 体</th> <th>氏 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>東京都農業会議事務局長</td> <td>北 沢 俊 春</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>足立区農業委員会会長</td> <td>荒 堀 安 行</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>JA 東京スマイル足立地区青壮年部部长</td> <td>青 木 誠 一</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>JA 東京スマイル足立花卉部会部部长</td> <td>並 木 一 重</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>JA 東京スマイル足立地区女性部部长</td> <td>柴 田 政 子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>JA 東京スマイル足立直売部会部部长</td> <td>宇佐美 一 彦</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>足立区町会・自治会連合会副会長</td> <td>加 藤 和 明</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>足立区消費者友の会会長</td> <td>瀧 野 静 江</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>足立区女性団体連合会副会長</td> <td>碓 屋 はま子</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>足立区商店街振興組合連合会副理事長</td> <td>山 崎 健</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>東京スマイル農業協同組合代表理事副組合長</td> <td>田 中 忠 穂</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>足立区立小学校PTA連合会副会長</td> <td>海老沢 利 一</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>東京都農業振興事務所主任普及指導員</td> <td>上 原 恵 美</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>足立区都市建設部長</td> <td>大 山 日出夫</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>足立区産業経済部長</td> <td>吉 田 厚 子</td> </tr> </tbody> </table>		団 体	氏 名	1	東京都農業会議事務局長	北 沢 俊 春	2	足立区農業委員会会長	荒 堀 安 行	3	JA 東京スマイル足立地区青壮年部部长	青 木 誠 一	4	JA 東京スマイル足立花卉部会部部长	並 木 一 重	5	JA 東京スマイル足立地区女性部部长	柴 田 政 子	6	JA 東京スマイル足立直売部会部部长	宇佐美 一 彦	7	足立区町会・自治会連合会副会長	加 藤 和 明	8	足立区消費者友の会会長	瀧 野 静 江	9	足立区女性団体連合会副会長	碓 屋 はま子	10	足立区商店街振興組合連合会副理事長	山 崎 健	11	東京スマイル農業協同組合代表理事副組合長	田 中 忠 穂	12	足立区立小学校PTA連合会副会長	海老沢 利 一	13	東京都農業振興事務所主任普及指導員	上 原 恵 美	14	足立区都市建設部長	大 山 日出夫	15	足立区産業経済部長	吉 田 厚 子
	団 体	氏 名																																															
1	東京都農業会議事務局長	北 沢 俊 春																																															
2	足立区農業委員会会長	荒 堀 安 行																																															
3	JA 東京スマイル足立地区青壮年部部长	青 木 誠 一																																															
4	JA 東京スマイル足立花卉部会部部长	並 木 一 重																																															
5	JA 東京スマイル足立地区女性部部长	柴 田 政 子																																															
6	JA 東京スマイル足立直売部会部部长	宇佐美 一 彦																																															
7	足立区町会・自治会連合会副会長	加 藤 和 明																																															
8	足立区消費者友の会会長	瀧 野 静 江																																															
9	足立区女性団体連合会副会長	碓 屋 はま子																																															
10	足立区商店街振興組合連合会副理事長	山 崎 健																																															
11	東京スマイル農業協同組合代表理事副組合長	田 中 忠 穂																																															
12	足立区立小学校PTA連合会副会長	海老沢 利 一																																															
13	東京都農業振興事務所主任普及指導員	上 原 恵 美																																															
14	足立区都市建設部長	大 山 日出夫																																															
15	足立区産業経済部長	吉 田 厚 子																																															



	<p>ウ 協議事項</p> <p>(1) あだち都市農業振興プランの目指す姿  (2) あだち都市農業振興プラン改定スケジュール  (3) 区民及び農業者向けアンケート内容</p> <p>エ 今後の予定</p> <table border="1" data-bbox="491 376 1396 683"> <thead> <tr> <th>年 月</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年11月</td> <td>区民向け農業者向けアンケート実施</td> </tr> <tr> <td>平成31年 3月</td> <td>第2回推進協議会開催</td> </tr> <tr> <td>平成31年 7月</td> <td>第3回推進協議会開催</td> </tr> <tr> <td>平成31年 9月</td> <td>パブリックコメント実施</td> </tr> <tr> <td>平成32年 2月</td> <td>第4回推進協議会開催</td> </tr> <tr> <td>平成32年 2月</td> <td>答申</td> </tr> </tbody> </table>	年 月	内 容	平成30年11月	区民向け農業者向けアンケート実施	平成31年 3月	第2回推進協議会開催	平成31年 7月	第3回推進協議会開催	平成31年 9月	パブリックコメント実施	平成32年 2月	第4回推進協議会開催	平成32年 2月	答申
年 月	内 容														
平成30年11月	区民向け農業者向けアンケート実施														
平成31年 3月	第2回推進協議会開催														
平成31年 7月	第3回推進協議会開催														
平成31年 9月	パブリックコメント実施														
平成32年 2月	第4回推進協議会開催														
平成32年 2月	答申														
備 考															

# 足立区経済活性化会議報告資料

平成30年11月13日

件名	健康経営に関連する事項について
所管部課名	産業経済部 産業政策課
内容	<p>1 「元気のヒケツ」          足立区では、多くの経営者が商業、ものづくり、農業を支えています。元気に活躍する「まちの元気人」をシリーズで紹介し、健康法や人生観、はたまた夫婦円満のヒケツなどのお話を伺い、まとめたものを「元気のヒケツ」として、区のホームページにシリーズ掲載していく。          過去の掲載内容については別紙参照。</p> <p>2 ヘルスツーリズムについて          ヘルスツーリズムを展開する事業者が、11月から創業支援施設「かがやき」に入居することとなった。今後この事業者に、健康経営に関する協力を求めていく。</p> <p>【ヘルスツーリズム】          健康の増進や回復に主眼を置いた旅行・観光のこと。地域固有の資源を活用して「観光」と「健康」を結び付けたプログラムが全国各地に登場している。既に、欧米諸国などでは旅行・観光や、医療（リハビリテーション等）の一つのジャンルとして普及し産業として拡大傾向にある。</p> <p>【入居事業者】          coco de class 株式会社          当社が開発したプログラムが、ヘルスツーリズム認証委員会より、第一期認証を受けている。</p> <p>【事業者提案プログラム】          クラフト体験＋ウォーキング＋写真撮影を取り入れた、癒し、健康意識、達成感を目的とした内容。          ・体育大学出身者による、ウォーキングプログラム指導。          ・総合旅行業務取扱主任者、総合旅程管理者による、行程管理、安全管理の監修。          ・元キャビンアテンダントによるホスピタリティサービスを踏まえたコミュニティづくり。</p>
備考	

# 元気のヒ・ケ・ツ 足立の商人・創人

【編集・発行】

足立区産業経済部産業振興課  
「元気のヒ・ケ・ツ」製作チーム

【問い合わせ先】

足立区産業経済部産業振興課  
3880-5865(直通)

2018年7月発行

足立区商店街振興組合連合会理事長

足立 義夫さん (綾瀬五丁目商店街 肉よし代表)

精肉店、商店街活動、地域の活動と、益々元気に活躍されている 足立義夫さん に元気のヒケツをうかがいました。



—年齢はおいくつですか—

79歳です。11月で80歳になります。

—仕事を続けている元気のヒケツはありますか—

まずは悩み事がないことです。

商店街には後継者がいなくて悩んでいるお店が多い中で、肉よしは、妻や5人の子ども達とお嫁さん、家族を中心に仲良くやっています。孫も8人います。

—食べ物や運動に気を遣っていますか—

家族みんな肉が好きで、豚肉料理をよく食べます。脂身も平気で量もたくさん食べてます。運動はあまりしませんが、朝6時に起きて、仕事中は立ちっぱなしです。

特に午後2時から7時まではずっと焼き鳥を焼いています。

—精肉店を始めたキツカケを教えてください—

中学2年生までは、江東区の学校に通っていました。

その頃は貧しくて、豆や芋を混ぜた麦飯しか食べられない生活でしたが、親戚の肉屋さんに誘われて仕事に行ってみると、そこでは白米と肉を食べられたので、肉屋になることをすぐに決め、転校して肉屋を手伝い始めました。



—趣味はありますか—

歌を歌うのが好きです。

先月も家族とカラオケに行きました。十八番は村田英雄さんの「祝い節」です。

歌を聞くのも好きで、最近も三山ひろしさんを見に行きました。

昔は煙草を1日に1箱くらい吸っていましたが、大好きな歌のためにやめました。

お酒を飲むのも好きです。

仕事は朝から晩まで大変ですが、終わった後に夫婦でお酒を飲めば楽しくなります。



—お店を家族皆で続けている仲のよさのヒケツはありますか—

まわりからもよく聞かれますが、子ども達の前で泣き言を言わずに、夫婦喧嘩をしないことです。もし、喧嘩をしたとしても自分から謝るようにします。

楽しく仕事をしている姿を見て、子どもたちも今の肉屋の仕事をやってみようと思ってくれたと思っています。

妻や家族に恵まれて幸せです。

—足立区について望むことは何ですか—

足立区へ寄付も行ったり、青色防犯パトロールも行っています。

足立区の子供達と安心安全で素敵な街にしていきたいと思っています

～編集者より～

普段から、「右肩上がりで頑張らしましょう！」と、明るく元気いっぴいの足立理事長。まちの仕事を引き受けていただきながら、お店にも立ち続け、奥様、息子さん、娘さん、お嫁さん、従業員さんと一緒に笑顔で迎えてくれます。このチームワークの良さが、元氣と美味しさを届けてくれるヒ・ケツなのもうなづけます。

### 「肉よし」の店舗情報

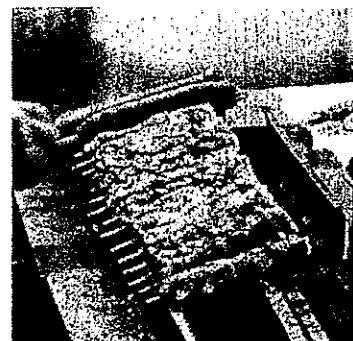
業 種：精肉店

住 所：足立区綾瀬5-11-12

営業時間：午前8時から午後7時

(日曜・祝日定休)

電 話：3606-2944



# 元気のヒ・ケ・ツ 足立の商人・創人

【編集・発行】  
足立区産業経済部産業振興課  
「元気のヒ・ケ・ツ」製作チーム  
【問い合わせ先】  
足立区産業経済部産業振興課  
3880-5865(直通)

2018年8月発行

(有)国治刃物工芸製作所代表 華道・園芸用はさみ製造  
平成28年度 卓越した技能者(現代の名工)受賞  
東京都伝統工芸士 川澄 巖さん

川澄さんは足立区が誕生した昭和7年生まれ86歳です。生まれも育ちも足立区の川澄さんに、子どもの頃の話や今も現役で活躍し続ける元気のヒケツをうかがいました。

—子どもの頃はどんなお子さんでしたか？—

いつも身体動かして遊んでる子どもだったね。冬はおし  
くらまんじゅうしたり、夏は扇大橋や西新井橋のプールへ  
行ったり。家で遊ぶのは正月のかるたぐらい。中学の時  
はラグビーとテニスやって。テニスはずっとやってる。

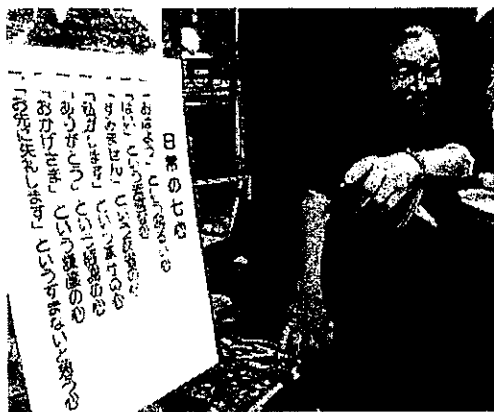
—若い頃からしっかり身体を動かしていたことが今のご健  
康にも繋がっているんですね—

そうだね。じっとしていられないんだよね。

—この仕事を始められたきっかけは？—

親父が医療器具の製作をしていたんだけど、お華の先  
生からお華の鋏(はさみ)やらない？って。そこから50年  
以上、親父は独学でお華や木の鋏を創った。自分は  
(兄弟の)一等上だから、仕事を継ぐっていう半強制的な  
感じで自然に。大学出てから、親父の助けをしなくちゃな  
んないって。他の仕事なんて考えられなかった。

親父は「あらゆるものの一流品、いいものは見ておけ」  
と常に言っていた。そうすると目が肥えて、いい悪いがよく  
わかるようになってくると。素晴らしいものがあるという  
ことが頭の隅にでも残っていれば、何かの役に立つと。



## 日常の七心

デパートの催事に出展した際に「そういう心がけて  
やることはいいことだな」と思い、いただいたという。  
「心がけだけで実行はなかなか叶わないですけどね。  
みんながこのとおりによれば、そつないんですよ。」

—お元気に、お仕事を続けていらっしゃるヒケツは何か  
ありますか—

ここ10数年、寺地小学校などで、毎年子どもたちに  
鋏製作の工程を見せられているんですよ。鋏の部品それ  
ぞれを1つに合わせて、完成した鋏で子どもたちに切って  
もらって。子どもは、エネルギーと集中の目が違うよ。  
来年はどんなことをしてあげようかなって思う。そのた  
めにも頑張らなきゃね。



刃のあわせ方、隙間ひとつで、切れ味は変わる。



—お仕事以外での楽しみはありますか—

写真を撮ると絵を観るのも好きですよ。親父がすごくハイカラで、絵と写真が好きでね、焼付けから引き伸ばしまで手伝わされてたから。

—お父様が使っていたカメラを今も使っているんですか—

そう。昔のドイツのカメラだから、今みたいに自動焦点じゃないの。目測でね、自分で合わせなくちゃなんないの。ベスト判だとかね、フィルムでやってるカメラなの。口径が大きいので、よく親父が私に自慢してた。

—仕事をしていて、楽しい、嬉しいと思うときはどんなときですか—

(お客様から)20年も30年も使っているって聞くと、ああこんなに使えるのかと。いいなあ、ありがたいなど。職人冥利に尽きるってよく言うけど、改良した上で、いい声をいただくと、本当に仕事やってよかったなあ。

親父そっくりのコピーみたいに創ってたら、それは伝統を引き継いでいるには違いないけど、どこかそこと違うような改良を加えてね、それよりもいいものを創らなくちゃ意味ないからね。もっと考えなきゃいけないかなという事は常に今でも思ってる。

—今もいろんな発想をされて、研究なさりながら創られているのですか—

そうそう。都や区のコンクールにも応募してる。足立ブランドにも、早くから応募して認定されたんだけど。やっぱり、そういう意欲がなくちゃ。若い人にも、せつかくその仕事に入っただから、どんどん応募していったほうが、いいよって発破をかける。認めてもらったり、知ってもらう方法を考えることも大切だよ。



受賞作品企画は奥様

「第三者が見たほうが、いいヒントを与えてくれる。」と川澄さん。奥様が一番のアドバイザーですね、とお尋ねすると「そうそう。」と笑顔で答えてくださった。

(有)国治刃物工芸製作所  
【華道・園芸用はさみ製造】  
住所: 足立区扇1-3-12  
電話: 3890-1854



～編集者より～

“もの”を見る目、道具を大切に作る気持ちが随所に感じられるお話でした。

ご自身の鉄について「悪いことだけ言ってくださいとよく頼むんだ。そこを改良すれば、もっといい道具になるじゃない。」と謙虚におっしゃる川澄さん。言葉の端々に鉄製作への熱い思いが溢れていました。現代の名工を受賞してもなお、尽きぬ向上心と製作意欲。この心意気こそが、川澄さんの元気のヒ・ケ・ツ!

# 元気のヒ・ケ・ツ 足立の商人・創人

【編集・発行】

足立区産業経済部産業振興課

「元気のヒ・ケ・ツ」製作チーム

【問い合わせ先】

足立区産業経済部産業振興課

3880-5865(直通)

2018年9月発行

## 足立区農業委員会会長 荒堀 安行さん

荒堀さんは昭和22年生まれの70歳です。足立区の土で育ち、足立区の土を耕してきた荒堀さんに、農業のことだけでなく、ご自身のことや趣味などをお聞きして、今も現役で活躍し続ける元気のヒケツに迫りました。



—お仕事について教えてください？—

ムラメを栽培して出荷しています。刺身のツマですね。父の代ではハナホやアユタデ、アサツキなど足立区特産のツマモノを手広く栽培していましたが、今ではムラメが主になっています。

ムラメとは…

赤紫蘇の若芽。刺身のツマや薬味に使う。彩りのためだけでなく、魚の食あたりを防ぐための工夫でもある。ほのかな紫蘇の香りが特徴。



お刺身の彩りとして欠かせません！

—この仕事を始められたきっかけは？—

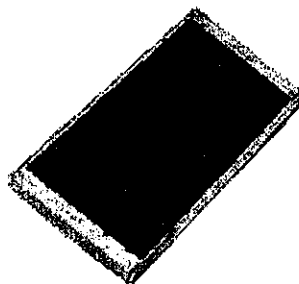
高校時代にやっていた棒高跳びを大学でもやりたいと思い浪人していた時、父の仕事を手伝いだしたのが始めです。結局、そのまま大学にはいかなくて、就農しました。ムラメは特に収穫が大変で、常にしゃがみ込みながら作業しなければいけない。腰や膝が痛くて苦しい時もありましたよ。

—お元気に、お仕事を続けていらっしゃるヒケツは何かありますか—

食べ物の好き嫌いはないです。特に最近、そば作りに凝っています。結構長い間、本格的に手打ちで作ってみたいと思っていましたが、なかなか手が出せずにいたところ、昨年、テレビで見た簡単そば打ち機を試しに買ってみたらこれが楽しくて、はまってしまいました。良いそば粉を取り寄せて、作っては、家族で食べています。

あとは、場面・場面で気持ちを切り替えることも大切かな。仕事も、地域や学校の仕事も、プライベートも、そこを離れたら切り替える。

農業委員会の公務で外出するときは、家のことはすっぱり忘れる。「息子よ。後は任せた」みたいな感じでね。(笑)」



出荷の箱詰めは見栄えが大事！

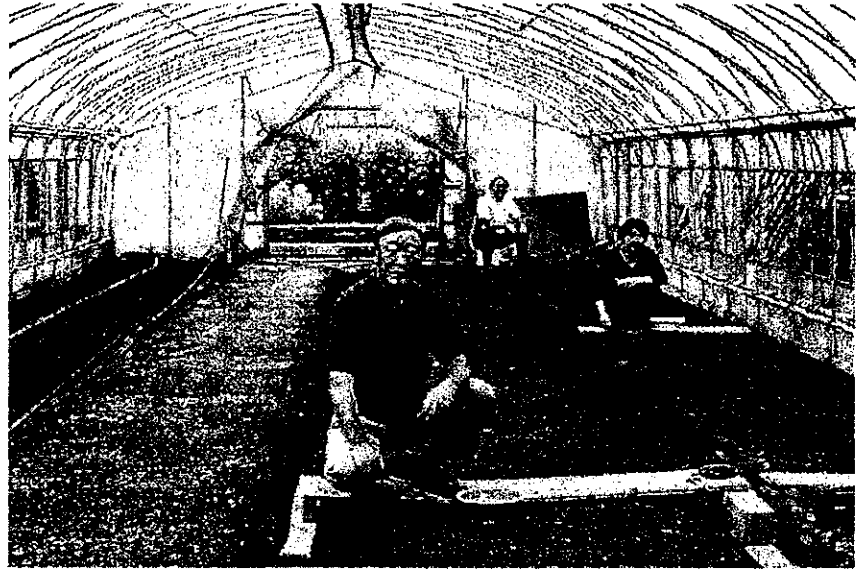
きつい体勢での収穫作業は、1時間半が限界。「若い頃の運動での身体づくりが生きているかな」と。



—お仕事以外での楽しみはありますか—

ここ数年、よく北海道旅行に行きます。家から車で茨城県の大洗まで行って、そこからフェリーに乗ります。それぞれの個室にデッキがついていて、天気良ければ、景色を見たり、本を読んだりして過ごします。北海道の苫小牧港に着いたら、ゆっくり道内をドライブするんです。北海道は“非日常感”が良くてとても気に入っています。

2人の孫との時間も大切ですね。



収穫は、息子さん夫婦と協力して！



—荒瀬さんの農産物はどこで買えますか？—  
ムラメは主に市場に出荷していますが、一部を区内の料理店に直接持っていきます。

また、昨年オープンしたJA東京スマイルの直売所「あだち菜の郷」に、モロヘイヤや落花生、ベビーリーフなどを出荷しています。うちの落花生は、実が大きくてゆでて食べる品種で、濃厚でしっかりした味が特徴なんですよ。

区内の料理店さんからも、「美味しかった、今年はまだ？」と好評の声を聞くと、嬉しいですね。

(青々と茂った落花生は、10月頃出荷予定です！)

—今後の足立区の農業についてどのような想いがありますか—

農業を仕事にすることは、特に都内ではなかなか難しいことで、若者にとっても農業は魅力的な職業とは言えないのが現状です。

理由の一つに、農産物の値段が安値で安定してしまっている点があります。異常気象や災害があると、一時的に農産物の値段が上がりますが、すぐに下がってしまう。生産者が思う価格と消費者の感覚が離れていて、若い人からはもうけが少なく、報われない仕事に見えてしまうのではないのでしょうか。

例えば、1つのキャベツを栽培するのに、どれ位の経費が掛かっているのかを目に見える形にし、それを消費者に情報発信していくことで、食材へのありがたさが伝わり、少しは状況も変わっていくのではないのでしょうか。行政やJAにも、ぜひ協力してもらいたいです。農業を若い人がやってみたいと思うような仕事にしていければいいなと思っています。

～編集者より～

質問に対して誠実に受け答えいただく中、ユーモアをまじえたお話も。農業委員会会長としての顔だけでなく、居合わせた息子さんとの掛け合いや、お孫さんの話をされるときの優しい家庭人としての顔。それぞれの立場によって、上手に気持ちを切り替えることができる、それが、元気のヒケツだと感じました。



JA農産物直売所あだち菜の郷  
住所：足立区中央本町1-4-2  
(JA東京スマイル足立支店駐車場内)  
◆区内新鮮農産物はこちらで！◆



# 元気のヒ・ケ・ツ 足立の商人・創人

【編集・発行】  
足立区産業経済部産業振興課  
「元気のヒ・ケ・ツ」製作チーム  
【問い合わせ先】  
足立区産業経済部産業振興課  
3880-5865(直通)

2018年10月発行

## 柳原商栄会 統括会長 稲荷ずし松むら 店主 立花 千里さん

今年80歳！昭和39年から、柳原の地で、「稲荷ずし、のり巻き」一筋、今でもお店に立って握り続けています。テレビに何度も取り上げられたり、有名人もわざわざ買いに訪れるという専門店「稲荷ずし松むら」店主の立花千里さんに、元気のヒケツをうかがいました。



—お仕事を始めたきっかけは？—

実家は福島で炭切り(木炭を規格に合わせて切ること)の仕事をしていたんだ。9人兄弟の4番目で、小さい頃から親の手伝いは、たくさんしていたよ。

長男が跡を継ぐと思っていたから、中学生の頃は、外国航路の船乗りになりたかったんだけど、親にそんな危ないことはだめだと反対されてしまっただけ。

昭和29年、中学卒業と同時に南千住のずし屋に手が足りないからと呼ばれて奉公に出たんだ。寿司と聞いて「生(なま)寿司」だと思ったら、稲荷ずしだったんだよ。それから10年頑張っただけ、昭和39年25歳の時に、独立させてもらって、この地に店を構えることになったんだよ。

—仕事をしていて嬉しかったことは何ですか—

若い頃は、無我夢中、朝5時から夜の11時頃まで休む間もなく働いた。青春はなかったね。

何が一番嬉しいか、って、お客さんが増えたことだな。

今が一番良いかな。いろいろなお客さんと交流ができて、気持ちに通じ合う、それが楽しいよ。

今は店の留守番が楽しみ、顔見知りや遊びにも誘ってくれるしね。

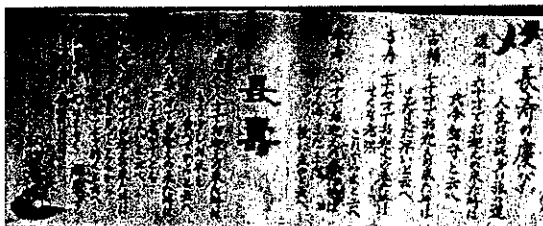
—お元気に、お仕事を続けていらっしゃるヒケツは何かありますか—

(店の奥ののれんを指して) あれだよ！(「人生成り行き」立川談志とあった)

暴飲暴食はしないことも気を付けてるね。

田舎暮らしだったから、通学は山道を毎日4km歩いたよ。親の手伝いもたくさんした。中学の頃は、60kgの荷物も背負ったね。その頃の身体づくりが、今の元気のもとになっているのかな。

手が綺麗だねってほめてくれる人もいるんだよ。毎日、油揚げを触っているおかげかな。



「八十八歳でお迎えが来たときは、もう少しお米を食べてからと言え…っていうからまだまだだね」と。

—お仕事で大切にしていることは何ですか—

この仕事(稲荷ずし・のり巻き作り)は、下準備が大切なんだ。それをきちんとしておけば、お客さんを待たせず、手際よくできるからね。仕事は要領。

あと連携。一人でやることだけじゃないから、“気の効く”ことをすることが大事。イチイチ手を止めてやってたら、作れないよ。

出かけると、他の店ののり巻きを買って食べてみるけど、かんぴょうが1本しか入っていなかったものもあった。利益は欲しいけど、ケチな商いはしたくないね。ちゃんと、かんぴょうは柔らかすぎず、硬すぎずのものをしっかり入れる。そのための手間はかける。

職人は、作るのはうまいが、儲けが下手だね。自分は、なかなか商売人になりきれていないな、と思う。(笑)

「仕事は1つやれば、2つ・3つと見えてくる。」そう親に言われた。ありがたいね。その通りだよ。その言葉のようにずっとやってきたよ。



3人がそれぞれがそれぞれの仕事を手際よく。

—お仕事以外の楽しみはありますか?—

趣味はたくさんあるけど、1つもものになってないな。お客さんから誘われて、野球を見たり、落語や講談もよく聞きに行くよ。以前は、ゴルフにもよく行った。

今は、店の前を通る小さい子のために、店先にめだかを飼ったり、夏は朝顔を育てたりしてるよ。小さいお客さんがたまに寄ってくれるからね。

～編集者より～

現在、立花さんと奥様(ヨシ子さん)とお嬢さん(小川 大さん)の三人でお店を切り盛りしている。

取材中(午前10時から正午)、お客さんがひっきりなし。立ちっぱなしで、次々に注文に応じながら、200個ほどのお稲荷さんと何十本もの海苔巻きを作り続けていた。こちらからのインタビューやお客さんとの会話に冗談を言いながらも手は止まらない、まさに職人技。食べると「ほろり」とほどけるようなご飯と、なんともいえない甘いお揚げとかんぴょうは、お客さんを思って朝早くから仕込んでいるからこそ作り出せる味わい。そして、立花さんにとって、お客さんとのコミュニケーションが何よりの元気のヒケツ。



ご主人が巻いて奥様が切る、あうんの呼吸で次々に巻物が出来上がる。「お父さんは仕事には厳しいからね」と奥様。



刃釜で炊くお米は水分がちょうどよい。重いお米をあけて酢を混ぜるのは、嬢婿の大さんの仕事。

「稲荷ずし 松むら 千住店」

住 所: 足立区柳原2-23-6

営業時間: 午前8時から午後8時

(火曜日定休)

電 話: 3881-1790



# 足立区経済活性化会議報告資料

平成30年11月13日

件名	第2回あだちの輝くお店セレクションの実施について
所管部課名	産業経済部 産業振興課
内容	<p>第2回あだちの輝くお店セレクションについて、以下のとおり実施する。</p> <p>1 募集テーマ これを食べたいなら、「ココ」へ行け！～町の中華 おすすめの一品</p> <p>2 テーマ設定の理由 より多くの方に応募していただくために、誰もが応募しやすく、行ってみたい店を想起させやすい「食」に絞った。また、一つの地域に推薦店舗が偏らないことを意識し、店舗数が多く、手軽に食べることができる「町の中華」をテーマとした。</p> <p>3 スケジュール (1) 応募期間 (約2ヶ月間) 9月25日(火)から12月2日(日)まで ※あだち広報9月25日、ホームページ掲載 (2) 結果発表 2月25日号(あだち広報掲載予定) あわせてHP掲載。 発表に承諾いただける上位10店舗について、順位を付けずに公表する(チェーン店は除く)。</p> <p>4 推薦応募方法 (1) 区ホームページ専用フォームへの入力 (2) 応募用紙の持参、FAX (3) イベント等で昨年度選定店舗の紹介を兼ねたブースを設置し、直接、応募につなげるキャンペーンを実施。 ・A-Festa 2018:10月6日(土) ※応募数:145件 ・庁舎アトリウム:10月22日(月)、23日(火) ・ものづくりフェスタ:11月3日(土)、4日(日) ・光の祭典:12月1日(土)、2日(日)</p> <p>5 第2回の応募数アップのための工夫 (1) 興味を持っていただけるテーマ設定 (2) 直接応募キャンペーンを実施。 (3) キャンペーン時に掲示できる推薦お願いカードの作成やちらしやポスターの設置を中華店に依頼し、店舗からの事業盛り上げを図った。 (ホームページでの周知のほか、商店街加盟店やタウンページ掲載店舗に直接職員が訪問し、説明と依頼をした)</p>
備考	